

事務連絡
平成28年3月25日

各都道府県・指定都市教育委員会学校体育主管課
各都道府県私立学校主管課
附属学校を置く各国立大学法人担当課
独立行政法人国立高等専門学校機構担当課 殿
小中高等学校を設置する学校設置会社を
所管する構造改革特別区域法第12条第1項
の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課

スポーツ庁 政策課 学校体育室

組体操等による事故の防止について

学校の設置者は、児童生徒の安全の確保を図るため、その設置する学校において、事故等により児童生徒に生ずる危険を防止することができるよう、必要な措置を講ずるよう努めるものとされています（学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第26条）。

児童生徒の体力・運動能力の向上に向けて体育活動を積極的に展開するためには、体育の授業や体育的行事（運動会等）、運動部活動等における事故防止に努めていただく必要があります。

各教育委員会・学校等におかれては、日頃より、体育活動中の事故防止について取り組んでいただいているところではありますが、依然として、多くの事故が発生している状況にあります。

期間が限定された体育的行事においても、毎年度事故が発生しているところであり、実施に当たっては、校長の責任の下で組織的な指導体制を構築すること、児童生徒の体力等の状況を踏まえて段階的・計画的な指導を行うこと、活動内容に応じた安全対策を確実に講じることなどの措置を講じていただきますようお願いいたします。

特に運動会等で実施される組体操については、年間8,000件を上回る負傷者が発生し、社会的な関心を集めているところであり、下記の事項を踏まえた措置を講じていただきますようお願いいたします。その際、別添1の参考資料も御活用下さい。

併せて、その他の体育活動についても、別添2の事故防止に関する参考資料も活用しながら、活動内容に応じた事故防止対策を講じていただきますようお願いいたします。

なお、スポーツ庁では、来年度、組体操を含む体育的行事における事故事例について分析した事例集を作成し、各教育委員会等に情報提供することとしております。

また、都道府県・指定都市教育委員会にあっては所管の学校及び域内の市区町村教育委員会に対して、都道府県にあっては所轄の私立学校に対して、国立大学法人にあっては附属学校に対して、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体にあっては認可した学校に対して、この趣旨の周知を図るとともに、指導・助言をお願いいたします。

記

1. 各学校においては、組体操を実施するねらいを明確にし、全教職員で共通理解を図ること。
2. 各学校においては、練習中の児童生徒の習熟の状況を正確に把握し、その状況に応じて、活動内容や指導計画を適時適切に見直すこと。万が一、練習中に児童生徒が負傷する事故が発生した場合には、速やかにその原因を究明し、活動内容を見直したり更なる安全対策を講じたりするなどの措置を行うこと。
3. 各学校においては、タワーやピラミッド等の児童生徒が高い位置に上る技、跳んできた児童生徒を受け止める技、一人に多大な負荷のかかる技など、大きな事故につながる可能性がある組体操の技については、確実に安全な状態で実施できるかどうかをしっかりと確認し、できないと判断される場合には実施を見合わせること。
4. 各小学校においては、組体操に関しては小学校での事故の件数が相対的に多いことや、小学校高学年は成長の途中で体格の格差が大きいことに鑑み、在籍する児童の状況を踏まえつつ、事故につながる可能性がある危険度の高い技については特に慎重に選択すること。
5. 各教育委員会等においては、段数の低いタワーやピラミッド等でも死亡や障害の残る事故が発生していることなど、具体的な事故の事例、事故になりやすい技などの情報を、現場で指導する教員に周知徹底すること。

【本件担当】

スポーツ庁 政策課 学校体育室 次世代育成係

電話 03-5253-4111 (代表) 内線 3777

組体操による事故の状況

(独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付のデータより)

1. 組体操による事故

- 医療費等の支給件数：平成 23～26 年度の間、年間 8,000 件を上回る
(運動中の事故に占める割合：1.5% (平成 26 年度))
- 事故事例が確認できた支給実績 (昭和 44 年度以降の総支給件数)
 - ・死亡見舞金：9 件 (組体操時の突然死 2 件を含む。)
 - ・障害見舞金：92 件
- 学校種別では、小学校が占める割合が高い (平成 26 年度)
 - ・小学校が約 6,300 件で、組体操全体の 73%を占める
 - ・医療費の支給件数を運動種目別に見ると、小学校では、組体操は 4 番目に多い
(組体操は、跳箱運動、バスケットボール、サッカー・フットサルに次いで多い)
- 組体操により負傷の部位別に見ると、足・足指部、頭部、手関節、腰部、頸部が多い (平成 26 年度)

2. 組体操の技別の状況 (※平成 26 年度のデータから、組体操の技別が明らかになったものについて集計)

- 医療費の支給件数
タワー (1,241 件)、倒立 (1,167 件)、ピラミッド (1,133 件)、肩車 (640 件)、サボテン (487 件)
- 死亡見舞金支給事例 (昭和 44 年度以降)
 - ・確認できた事例 9 件のうち、
一練習時の突然死 (2 件) 以外の 7 件中、3 件がタワー
一約 1m の高さからの転落により死亡した事例が 2 件 (タワー、肩車)
- 障害見舞金支給事例 (昭和 44 年度以降)
 - ・確認できた事例 92 件のうち、
タワー 29 件、ピラミッド 14 件、肩車 11 件、倒立 6 件、サボテン 5 件 等
- 負傷部位：
 - ・「頭部+頸部」の割合
肩車 (27.8%)、タワー (25.6%)、倒立 (13.2%)、ピラミッド (10.9%)、サボテン (8.6%)
(学校における運動中の事故の平均：5.5%)
- タワー・ピラミッドで負傷した児童生徒がいた段 (上中下段何れの段でも事故が発生)
 - ・タワー：最下段 16%、中段 46%、最上段 38%
 - ・ピラミッド：最下段 44%、中段 35%、最上段 21%
 - (注)「最下段」及び「最上段」以外の段は「中段」として集計。

学校における体育活動中の事故防止に関する参考資料

事故防止に関する参考資料

- 学校における体育活動中の事故防止について（報告書）〔平成 24 年 7 月〕
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1323968.htm
- 学校における体育活動中の事故防止のための映像資料〔平成 26 年 3 月〕
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbBZpfbIZpdamkuUGAZsFHsX>
- 柔道の授業の安全な実施に向けて〔平成 24 年 3 月〕
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/judo/1318541.htm
- 運動部活動の在り方に関する調査研究報告書（運動部活動での指導のガイドライン）〔平成 25 年 5 月〕
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1335529.htm
- プールの安全標準指針（平成 19 年 3 月）
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/boushi/1306538.htm
- 学校安全参考資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育〔平成 22 年 3 月〕
http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1289310.htm
- 学校施設における事故防止の留意点について〔平成 21 年 3 月〕
<http://www.nier.go.jp/shisetsu/pdf/jikoboushizentai.pdf>
- 「学校でのスポーツ事故を防ぐために」（独）日本スポーツ振興センター
<http://www.jpnsport.go.jp/anzen/tabid/1746/Default.aspx>
- 「学校災害事故防止に関する調査研究」（独）日本スポーツ振興センター
http://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/bousi_kenkyu/tabid/337/Default.aspx
- 「学校の管理下における事故の統計情報や事例」（独）日本スポーツ振興センター
http://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school//tabid/1624/Default.aspx
- 「教材カード」（独）日本スポーツ振興センター
http://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/card/tabid/519/Default.aspx

事故防止に関する通知

【学校体育全般】

- 学校の体育活動中の事故防止について〔平成 23 年 8 月 12 日〕
 学校における体育活動中の事故防止等について〔平成 20 年 4 月 23 日〕
 学校における体育活動中の事故防止等について〔平成 27 年 6 月 8 日〕

【武道関連】

- 武道必修化に伴う武道の安全管理の徹底について〔平成 27 年 5 月 8 日〕
 新しい学習指導要領の実施に伴う武道の授業の安全かつ円滑な実施について〔平成 24 年 3 月 9 日〕
 学校等の柔道における安全指導について〔平成 22 年 7 月 14 日〕

【熱中症・落雷関連】

- 熱中症事故等の防止について〔毎年 5 月頃〕
 落雷事故の防止について〔平成 26 年 8 月 6 日〕
 熱中症事故の再発防止に向けた取組に関する情報提供について〔平成 25 年 9 月 1 日〕

【水泳プール関連】

- 水泳等の事故防止について〔毎年 5 月頃〕
 学校の体育・保健体育の授業における水泳の指導について〔平成 26 年 7 月 7 日〕
 水泳プールの安全管理について〔平成 25 年 8 月 9 日〕
 プール監視業務を外部委託する場合の留意点について〔平成 24 年 7 月 25 日〕

【運動部活動関連】

- 運動部活動での指導のガイドラインについて〔平成 25 年 6 月 3 日〕

【脳損傷関連】

- スポーツによる脳損傷を予防するための提言に関する情報提供について〔平成 25 年 12 月 20 日〕
 学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について〔平成 24 年 9 月 5 日〕

【設備・施設関連】

- 学校に設置している遊具の安全確保について〔平成 26 年 8 月 19 日〕
 サッカーゴール等のゴールポストの転倒による事故防止について〔平成 25 年 9 月 4 日〕
 体育・スポーツ施設における安全確保について〔平成 25 年 8 月 26 日〕
 自動体外式除細動器（AED）の適切な管理等の実施について〔平成 21 年 5 月 29 日〕

【その他体育活動関連】

- 連休登山の事故防止について〔毎年 3 月頃〕
 冬山登山の事故防止について〔毎年 11 月頃〕
 女子の児童生徒学生の運動・スポーツ実施の際の健康管理について〔平成 26 年 4 月 23 日〕
 いじめ、学校安全等に関する総合的な取組方針等について〔平成 24 年 9 月 5 日〕
 体育活動中における紫外線対策について〔平成 27 年 8 月 28 日〕

学校体育実技指導資料等について

文部科学省では、学校における体育活動の円滑かつ安全な実施に資するよう、下記の手引、映像資料等を作成。

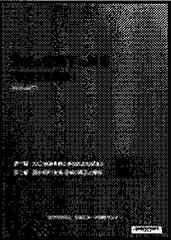
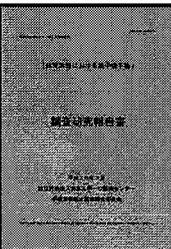
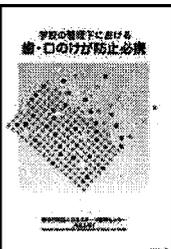
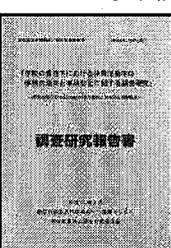
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/index.htm

<p>○柔道指導の手引(三訂版)(平成25年3月) <全中学校・高等学校に配布></p>  <p>【概要】 学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、今後の柔道の安全かつ円滑な実施のため、安全指導の配慮についてはもとより、より柔道の指導が充実できるよう具体的な指導方法等を示すものとして改訂。</p>	<p>○表現運動系及びダンス指導の手引(平成25年3月) <小学校・中学校・高等学校向け></p>  <p>【概要】 発達の段階に応じたダンスの授業に資するよう、学習指導要領の改訂の具体的な内容や各学年の指導内容を詳しく解説。実践編においては、実際の授業づくりに活用できるよう、指導と評価の工夫として単元計画や一単位時間の授業例を例示。</p>
<p>○水泳指導の手引(三訂版)(平成26年3月) <全小学校・中学校・高等学校に配布></p>  <p>【概要】 小・中・高等学校の学習指導要領の体育、保健体育の「水泳系及び水泳」のねらいや内容を踏まえた各学校での指導において参考となるよう全面改訂。</p>	<p>○器械運動指導の手引(平成27年3月) <全小学校・中学校・高等学校に配布></p>  <p>【概要】 小・中・高等学校の学習指導要領の体育・保健体育の「器械運動系」のねらいや内容を踏まえた各学校での指導において参考となるよう作成。また、付録として授業例の実践映像資料(DVD)を収録。</p>
<p>○運動部活動での指導のガイドライン(平成25年5月) <全中学校・高等学校に配布></p>  <p>【概要】 各学校の運動部活動において適切な指導が展開され、各活動が充実したものとなるよう、指導において望まれる基本的な考え方、留意点等(7事項)を掲載。</p>	<p>○学校における体育活動中の事故防止について(報告書)(平成24年7月) <文科省HPで公開></p>  <p>【概要】 スポーツ振興センターの災害共済給付の実績をもって傾向を把握し、その中でも、死亡事故等の重大事故事例等を主として分析し、体育の授業及び運動部活動を中心として、学校における基本的な安全対策について作成。</p>
<p>○小学校体育(運動領域)デジタル教材(平成26年3月) <全小学校に配布></p>  <p>【概要】 平成23年度から全面実施された体育の学習指導要領の内容を児童が意欲的に学べるように低学年・中学年・高学年それぞれの六つの領域の内容について映像で作成。</p>	<p>○柔道指導のための映像参考資料(平成26年3月) <全中学校・高等学校に配布></p>  <p>【概要】 中学校・高等学校等の体育の授業における柔道指導の安全かつ効果的な実施のため、平成25年3月に作成した「柔道指導の手引(三訂版)」の掲載内容を映像資料として作成。</p>
<p>○リズム系ダンス指導のための映像参考資料(平成26年3月) <全小学校・中学校・高等学校に配布></p>  <p>【概要】 「表現運動系及びダンス指導の手引」に掲載する事柄のうち、全国の状況等を踏まえて、小・中・高等学校でのリズム系ダンスの指導にかかるものを映像資料として作成。</p>	<p>○学校における体育活動中の事故防止のための映像資料(平成26年3月) <全小・中・高等学校に配布></p>  <p>【概要】 「学校における体育活動中の事故防止について(報告書)」の内容を中心に、体育活動中の事故を防止するために留意すべき事項等を映像資料として作成。</p>

【平成24年度以前に作成】

- 多様な動きをつくる運動(遊び)パンフレット (平成21年3月)
- 学校体育実技指導資料第8集「ゲーム及びボール運動」(DVD付き) (平成22年3月)
- 新しい学習指導要領に基づく剣道指導に向けて (平成22年3月)
- 教師用指導資料「小学校体育(運動領域)まるわかりハンドブック」(低・中・高学年用) (平成24年5月)
- 学校体育実技指導資料第7集「体づくり運動(改訂版)」 (平成24年7月)

(独) 日本スポーツ振興センターにおいて作成した
学校における事故防止に関する参考資料

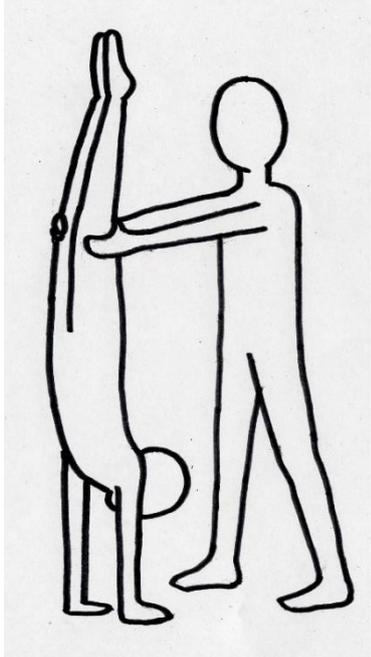
<p>情報誌「学校安全ナビ」</p>  <p>学校災害防止のための有効な情報・調査・研究成果などを学校関係者を中心にわかりやすく年に4回発信</p>	<p>「学校安全・災害共済給付ガイド」</p>  <p>学校安全部の業務全般を紹介</p>	<p>「学校の管理下の災害」</p>  <p>学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点と負傷・疾病の基本統計</p>
<p>「熱中症を予防しよう」</p>  <p>熱中症対応フローをはじめ熱中症予防の原則等を見直し、「熱中症予防のための啓発資料」をリニューアル</p>	<p>「体育活動における熱中症予防」</p>  <p>熱中症の事故事例を基に予防と応急手当の方法、発生状況や傾向など、予防に必要な事柄と指導のポイントなどを掲載</p>	<p>「学校の管理下における歯・口のけが防止必携」</p>  <p>子どもたちの歯・口をけがから守るための知識を深めていただくために、学校生活の管理と指導に役立つ情報を掲載</p>
<p>「学校における突然死予防必携」</p>  <p>医学的根拠と実際の事例を基に、学校における健康管理及び指導の在り方等を具体的に示した、突然死の予防を図るための必携書</p>	<p>「体育活動における頭頸部外傷の傾向と事故防止の留意点」</p>  <p>「頭頸部外傷に係る災害実地調査」及び「調査結果を踏まえた安全指導・安全管理、事故防止の留意点」などを掲載</p>	<p>「学校における固定遊具による事故防止対策」</p>  <p>「学校等における固定遊具の事故防止対策の実状調査」及び「安全指導・安全管理、事故防止の留意点」などを掲載</p>
<p>「課外活動における事故防止対策」</p>  <p>「体育的部活動における負傷・疾病の実態分析、実状調査」及び「体育的部活動のけが防止プログラム」を掲載</p>	<p>「学校における水泳事故防止必携」</p>  <p>学校における水泳指導や水辺活動に関わる学校関係者のための事故防止書</p>	<p>「学校でのスポーツ事故を防ぐために」(報告書)</p>  <p>全国的な事故事例・事故防止に関する最新の知見等についてのセミナーの内容を掲載</p>
<p>「スポーツ事故防止ハンドブック」</p>  <p>その時どうする？ ・突然死 ・頭頸部外傷 ・熱中症 ・歯の外傷 ・眼の外傷</p>	<p>「スポーツ事故防止Q&A解説集」</p>  <p>・スポーツ事故の状況 ・突然死 ・緊急時の体制づくり ・応急手当 ・心肺蘇生 ・熱中症 など</p>	<p>「その時あなたは」[DVD]]</p>  <p>①運命の5分間その時あなたは -突然死を防ぐために- ②体育活動による頭部・頸部の外傷 -発生時の対応-</p>

組体操の事故防止ポイント

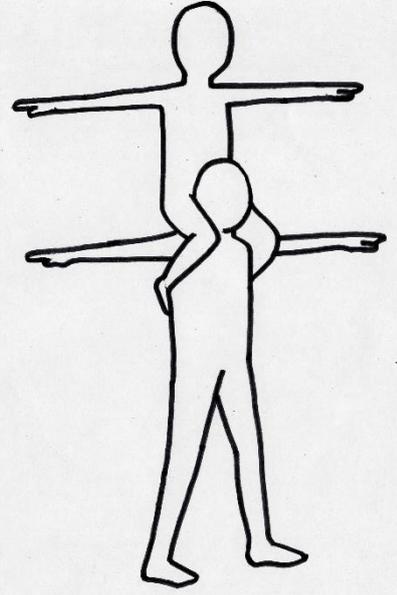
<全体の技に当てはまること>

- ア 個人の能力や発達段階などを的確に把握するとともに、体格の違いなどによる組み合わせに配慮するなど、計画の段階から事故防止に向けた取組を検討すること。
- イ それぞれの技の危険性と、児童生徒の状況を十分に検討したうえで、全員が一律に同じ技をすることにより、事故につながる可能性がある場合は、個々にあわせた技で参加させるなど、演技構成を工夫すること。
- ウ 事故を未然に防ぐため、補助をつけることや、マットを敷くなど、安全への配慮を徹底すること。

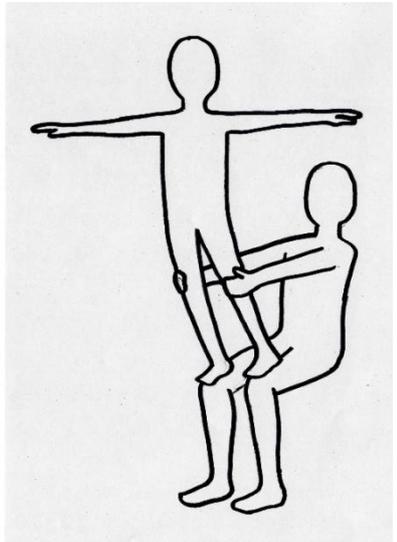
<補助倒立>

	実施方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 実施者は、補助者の足元に手を着き、手と手の間を見ながら、振り上げ足をしっかりと振り上げる。 2 倒立の姿勢の時は、肘を曲げないようにし、全身をしっかりと伸ばす。 3 補助者は、実施者の膝部分をしっかりと持って支える。 4 実施者は、足を下ろす際、片足ずつゆっくり下ろす。
	起こり得る事故	<ul style="list-style-type: none"> ・首を前屈した状態で倒立すると、しっかりと支えられないため、肘が曲がるなどしてバランスを崩し、左右に倒れたり、頭を打ったりする恐れがある。 ・実施者が、倒立から足を下ろす際に、バランスを崩すと勢いがあまり、膝や足の甲・指等を強打する恐れがある。 ・実施者の足の振り上げが強すぎると、補助者がうまく補助できず、実施者がそのまま倒れてしまい、背中等を強打する恐れがある。また、補助者の顔に実施者の足が当たる恐れがある。
	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・マット（できれば分厚いセーフティーマット）を敷いて、倒れても怪我をしない環境を作る。 ・手は肩幅で中指を平行にし、肩が少し前に出るくらいに着き、臀部を高く保ちながら足を振り上げる。 ・倒立時は、手と手の間を見るようにする。 ・補助者は、手だけでなく腕全体で包み込むように、蹴りあがってきた足をキャッチする。

<肩 車>

	実施方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 下の者は、上の者を乗せた前かがみの状態から、腰の力で持ち上げるイメージで立ちあがるのではなく、背筋を伸ばして、足の力で持ち上げるイメージで立ちあがる。 2 上の者は、下の者が立ちあがり、しっかりと安定してから手を伸ばす。 3 降ろす時は、同じく背筋を伸ばしてゆっくり降ろす。
	起こり得る事故	<ul style="list-style-type: none"> ・下の者が、勢いよく持ち上げすぎると、自身の腰やわき腹を痛める恐れがある。また、上の者が、後ろに倒れて頭や背中を打ったりする恐れがある。 ・下の者が、前かがみの状態で持ち上げようとする、上の者がバランスを取りづらく、前に倒れる恐れがある。 ・下の者が、前かがみの状態でおろそうとすると、バランスを崩して前に倒れ、上の者が手をついて手首を痛める恐れがある。
	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・壁を支えにして倒れない状況で行う。 ・習熟するまで、一度に全員でさせない。 ・マット（できれば分厚いセーフティーマット）を敷いて倒れても怪我をしない環境を作る。 ・補助を付ける際は、必ず前後に補助をつける。横につけると、倒れそうになっても「見ているだけ」の時がある。 ・初めはできるだけ体重の軽い者が上になって、少しずつ重い者を持ち上げる。スモールステップで練習をさせることで、上手に持ち上げる方法が身につく。 ・下の者は、腰の力で持ち上げるイメージで立ちあがるのではなく、背筋を伸ばして、足の力で持ち上げるイメージで立ちあがること。

<サボテン>

	実施方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 肩車からの状態から、上の者の足が下の者の太腿に足を載せる。下の者が上の者の膝の少し上を持つ。 2 上の者が膝を伸ばしてまっすぐ立つ。 3 下の者が頭を抜く。 4 下の者が後傾し、上の者が前傾する。
	起こり得る事故	<ul style="list-style-type: none"> ・上の者がバランスを崩しているのに、下の者が手を離さないと、上の者が上半身から前に倒れ、上半身を強打したり、手首を痛めたりする恐れがある。 ・下の者が、上の者の足から首を抜く際、首をひねってしまう恐れがある。
	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・マット（できれば分厚いセーフティーマット）を敷いて、倒れても怪我をしない環境を作る。 ・練習中には、前に補助をつける。 ・土台の者は、上に乗っている者の膝の少し上を持ち、後方へ体重をかけてバランスをとる。 ・上の者がバランスを崩したら、下の者は手を放す。 ・上の者は目線を前にして、全身に力を入れて、膝・背筋を伸ばす。